

# だいち

地域に生きる

編集者：蓮田太陽の里  
「だいち」広報委員会  
〒349-0101  
埼玉県蓮田市黒浜1045-1  
TEL 048-764-3881  
FAX 048-764-7788  
H P <http://minuma-hukushi.com/>

だいち  
だいち  
だいち



書：関口 忠司

## 巻頭コラム

バレンタインデー

2月11日(月)に少し早いですが女性の仲間・職員でバレンタインのチョコプリン作りをしました。仲間たちが混ぜたり、カップに流し込んだりと協力して「愛情がこもった」チョコプリンが完成しました。久しぶりの調理でみんなとても楽しそうでした。

その日の夕方に事前に書いておいたメッセージカードを添えて男性の仲間・職員に渡しました。祝日だったため帰寮していた仲間やその日いなかった職員には後日市販のチョコやプリンを、胃ろうの仲間には靴下を、日頃の感謝の気持ちを込めてプレゼントしました。

男性の皆様、ホワイトデー期待您的です！

安藤 浩子(職員)



実践検討集会 其の1

みぬま福祉社会実践検討集会にて  
レポート報告をさせて頂きました。

一昨年度から4つの分科会に分  
かれ、数人のグループの中に総合  
施設長がスーパーバイザーとして  
入り、話し合いを持ち一つのレ  
ポートをまとめあげています。

定期的にはひらかれるレポート会

議で2015年の秋頃、新しく大地に入  
所となったーさんが「ここにいて  
いいの?」と不安を抱えて入所し  
てから「ここにいたい」と願いを  
持って生活を送れるようになって  
きた背景を振り返りました。大地  
で「居場所」を感じられるように  
なるまで様々な人間関係があり、  
そのことの意味や大切さ、試行錯  
誤の中で職員集団も成長してきた  
こと、会議を通してたくさんの大  
切さを学びレポートに取り入れて

きました。

たくさんのお意見を頂ける会議が  
あることで自分の中にはない発想  
も出てきたり、何気なく行ってき  
たことに意味を持たせることがで  
きたり、新たなひらめきがあっ  
たりしました。自分の力だけでは  
ても書けなかった内容になった  
なあ…と思います。

そのレポートを報告し、集会の  
中でもたくさんの方に声をかけて  
頂き、午後にはグループ論議もあ  
り、助言者の先生からも今後の指  
針を頂きました。とても勉強にな  
り視野を広げることが出来たよう  
に思っています。

年間を通して、また実践検討集  
会当日も、たくさんの方に感謝の  
気持ちでいっぱいです。ありがと  
うございました！

島田 明音(職員)

実践検討集会 其の2

2月17日に実践検討集会に参加  
しました。当日は、みぬま福祉会  
各施設の職員や仲間の家族、来年  
度新たにみぬま福祉会の職員にな  
る方などたくさんの方が参加しま  
した。

午前中は、「みぬまの入施設  
づくりと暮らしの場を考える」と  
いうテーマで埼玉暮らしの場を考  
える会の足立氏より講義をして頂  
きました。その後各施設の職員か  
ら提出された4つレポートをし  
ポーターの職員が発表するという  
内容で午前の部が終わりました。

4つのレポートは、「みんなの中  
で願いを育む」、「ここにいて  
いいの?」から「ここにいたい!」  
に、「『また来たい』と思える施  
設を目指したしらゆりの実践」、  
「安心できる暮らし〜』って

らっしゃい』『おかえりなさい』  
がある暮らし〜』というテーマで  
した。

午後は4つの分科会に分かれ各  
レポートについて10名程のグル  
ープでの討論を行いました。グル  
ープ討論で私は、しらゆりの実践に  
ついて話し合いました。ショート  
ステイで日々仲間が入れ替わって  
いく中で「また利用したい」と  
思ってもらえる為にはどんな工夫  
が必要なのかを考え、その為には  
仲間のことをよく知ること、丁  
寧な支援を心掛けること、とい  
った声が多く挙がりました。

今回の討論を踏まえ、改めて自  
分の支援を振り返り、仲間「こ  
れからも大地にいたい。」と思っ  
てもらえるように努めたいと思え  
る機会になりました。

高篠 圭太(職員)

## 峰島研修

今年度峰島先生の研修を受けました。自分の書きたいテーマを選び1年かけてレポートを完成させるという内容です。私は昨年度まで担当をしていた仲間についてのレポートを書くことにしました。

作文の苦手な私には、仲間のことをなかなか上手く書くことが出来ず、伝えたいことがなかなか伝わらず四苦八苦しました。普段の職員会議では、みんな仲間のことを知っている人達なので、詳しい説明がなくても伝わるのですが、全くその仲間を知らない人たちに文章だけで説明するのがどれほど難しい事なのかを実感しました。また、レポート発表をして、その仲間を知らない、『この仲間はこういう人だ。』といったような、仲間を知らないが故に出てくる意見を

を聞くことができました。こうして頂いた意見をヒントに仲間の支援に役立てられるかもしれないので良い機会だったなと思いました。

また、他の人の書いたレポートを読むと、みんなそれぞれの思いがあって書き上げていることを感じました。どのレポートにも、ひとつキーワードのようなものがあります。それをどのようにレポートにまとめ伝えていくのかの作業だったように感じます。集まったレポートは中堅職員で、みんな何かしら大事にしているものがあり、それぞれ違ってきます。これまで勤めてきていろいろな経験を積み重ねてきた人たちが、どんな思いをもっているのか聞くことができて、良い勉強になりました。

大浦 健一（職員）

## 発達保障連続講座

7月～2月の間、4回にわたって開講された発達保障連続講座を受講させて頂きました。講師に滋賀大学で教育学を専門に研究されている白石恵理子先生をお招きしての講義でした。発達保障とは何かというお話から発達の階層を分けた視点や思考など、実践での取り組みを例に出しながらとても丁寧に講義してくださいました。

講義後のグループワークではグループの人と感想や、自分の職場での話しなどを共有出来る時間となりました。色々な職場の事情や悩みなどを共有することが出来、新人の私には勉強になる事ばかりでした。

また、第2回から第4回の講義の前にはみぬま福祉会の職員によるミニレポート発表がありました。

どのミニレポートの内容も仲間との丁寧な関わりが伺えるもので見習うべき姿がたくさんありました。全体的な感想としては正直難しいと思うところも多かったです。

しかし、今回の講義の内容を頭に入れておくことで、「あの時先生が言っていた事はこういうことだったのか。」という気付きが増えるように日々の生活の中で、仲間の想いや葛藤にしっかりと寄り添っていききたいと思います。

また、講義の中で「ご本人さんはどう思っているんやろ?」という先生の言葉がとても印象に残っています。私も仲間たちとの関わりの中で悩むことがあったら「ご本人さんはどう思っているんやろ」という気持ちに立ち返りながら、働きたいです。

高橋 茂奈美（職員）

## きょうされん実践交流セミナー

2月24日、はびすしらおかにて、きょうされん実践交流セミナーがおこなわれました。今の福祉を取り巻く情勢を学び、テーマごとのレポートを通じて「実践」を共有し、互いに高め合うことを目的としておこなわれた研修となりました。

まず初めに、愛知県のゆたか希望の家の副施設長である、佐藤さと子氏による記念講演がおこなわれました。仲間の高齢化の過程を支援していく上で考えたこと、発達の仕組みについて話されました。「老いてもなお輝けるために」というテーマで取り組んでいる班の話が印象に残り、高齢期を迎える仲間達に自分にはどんな支援が出来るのか、輝いてもらうためには何が出来るのか等、考えさせられ

ました。

次にきょうされん副理事長である、齋藤なを子氏より、優生保護法と雇用増し問題についての報告があり、午後には5つの分科会に分かれ、それぞれのレポートから各事業所の実践について議論されました。私は「高齢期」の分科会に参加をし、高齢期を迎える仲間への支援について、どの事業所でも同じように悩み、寄り添い、様々な模索をしているところだという共有をすることができました。今回この研修に参加をし、他の事業所の実践や職員の生の声をたくさん聞くことが出来ました。自分ももっと仲間に寄り添い、ひとつの課題に対し、様々な視点を持って支援していきたいと思えます。

面来 愉（職員）

## 暮らしの場 全体会

平成31年1月22日「暮らしの場全体会」が障害者交流センターで新入所施設建設事業の進捗状況や事業の意義と成果の確認、要求に基づく課題の確認等の話し合いがされました。家族発言の中では、

入所できなかった人が我が事のように「おめでとぅ」と喜んで電話を下さった話がされました。わかゆるい学園を利用していた家族の方からは、嬉しさよりこれからスタートラインに立たせていただいたという思いが語られ、「希望しても入れなかった人たちの多くの思いも考えながら、少しずつ実感し協力したい」という話がされました。新入所施設職員からは、「仲間が新しい居場所と思ってもらえるよう支え合いながら作り上げていきたい」「仲間の人生の大

きな節目に立ち会えて喜びを感じるが、仲間や家族、地域から託された施設になると身が引き締まる思いでいる。これから、どういった暮らしをしたいか、願いを家族と一致させ具体化していきたい」と話されました。

仲間部会や職員、それぞれの立場から多くの意見が挙がり、予定より1時間も過ぎるほどになりました。同じ施設の中でもお互いが思い合っていて誰ひとり手放しで喜べないのだけれど、次のスタートラインに立ち向かおう、という思いや願いが感じとれた話し合いになれたのではないかと思います。

植村 勉（施設長）



## 情勢を共有しよう

全国 29 地裁で生活保護基準引き下げの違憲訴訟が 1,000 人超の原告によって行われています。

# 生活保護基準の引き下げは さまざまな制度に影響します

## ① 最低賃金が上がりにくくなる

最低賃金は、労働者が健康で文化的な最低限度の生活を営むことができるよう生活保護との整合性に配慮することになっています。

よって、生活保護基準が下がれば最低賃金の引き上げは抑制されることとなります。

【平成30年度地域別最低賃金】

埼玉 **898円**

⇒1か月の賃金は、フルタイムで働いても15万8048円  
(1日8時間、22日働いた場合)



## ② 生活保護基準を目安にして利用条件を設定している教育・福祉・介護施策が利用できなくなる。

〈全国〉

- 就学援助 生活保護基準額の1.0~1.3倍以下。147万人の児童が利用
- 生活福祉資金 生活保護基準額の1.8倍以下。2万9000世帯が利用
- 介護保険利用料、保険料の減額
- 障害者自立支援利用料の減額
- 国民健康保険料一部負担金の減免

〈一部自治体〉

- 地方税の減免
- 地方税滞納処分の禁止
- 公営住宅家賃減免
- 自治体の公的貸付

## ③ 住民税の非課税基準が下がり、 今まで無税だった人が課税される。(現在、住民税非課税は3100万人)



## ④ 非課税だと安くすんでいた負担が増える。

- 高額療養費自己負担限度額(70歳未満)

非課税 上限35,400円 → 課税 上限57,600円以上

- 保育料(国基準。自治体によって上乗せ援助あり)

非課税 9,000円(3歳未満児) → 課税 19,500円  
…あとは税額によって保育料は上昇

- 介護保険自己負担限度額

非課税 上限24,600円 → 課税 上限44,400円

- 障害者・児のサービス

非課税 負担なし → 課税 所得に応じ上限9,300円~37,200円など

※障害児・者では、非課税47.7万人(73.5%)が負担なしとなっている。

- 難病患者の医療費

非課税 2,500円 → 課税 課税額により5,000円から30,000円までの負担発生



# なかまと

# みんなの

# 輪



近野茂治の  
今月のイイネ!



玉枝さんリハビリ楽しそうだ  
ね!  
みんなもリハビリ頑張りよう!



詩のコーナー

ちびむすかの

ここに2472は

ここに2472は たくさんのお話がある

ここに2472は たくさんのお話がある 31.2.21



やりまごう  
みんなぞう



# まりこの 素敵な日常

ふれあいランドにいつて  
きました。

くるまいすできょうそう  
しました。

まりこ

2019ねん2月27日(すい)  
わかれがさみしいね。  
このじきは、さみしくなるよ。  
3人ともいなくなるのは  
とってもざんねん。

みやよら

3月2日(ど) てんき:あめ

バレンタインにチョコレートをつく  
りました。

つくってみて、むずかしいとおもっ  
たけどかんたんでした。

あげてよかったよ。

りえ



おすすめ  
ごきごのみんな

# ボランティア募集

## ウエス・古本・バザー品の

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

### ①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

### ②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。是非ご協力をお願いします。

①ボランティア担当（面来、松崎）

②ウエス、古本担当（野村、北隅）

ありがとう  
ございました!



(順不同)

岩上 めぐみ 様

31年2月度に寄付して下さいました  
ありがとうございました

## 大地の3月の予定

2日	(土)	理事会/家族会/ 4担当総括会議
6日	(水)	第17回生活保護 違憲訴訟
9日	(土)	みぬまコンサート
12日	(火)	成人古希を祝う会 in 大地
15日	(金)	防災訓練
23日	(土)	評議委員会
20・22・26日	(水・金・火)	ケース総括会議
30日	(土)	新施設内覧会



今月の担当：野村 勇作

私が大地で学生アルバイトの頃から色々気にかけてくれた先輩がいます。たくさんのお話を教えてもらいましたし、すごく怒られた（怖かった...）こともありました。でもあの時怒ってもらっていただければ大切なことを理解しないままずっと過ごしてしまっていたかもしれません。本当に感謝しています。自分も後輩を育てられる良い先輩になる事が、一番の恩返しになると思って頑張っています。「この人に教えてもらってよかった」と私がそう思っているように、私も後輩達に好かれ尊敬される先輩になりたいと思います。

その先輩とは4月から別々の場所で働くことになりました。すいませんでしたが、ずっと背中を追い続けたいと思います。本当にありがとうございました。



藤井 寛（職員）

課業より  
寒さも和らぎ、暖かくなってきましたね。ただ、私にとってはこれから数ヶ月、嫌な季節になってしまいます。それは花粉です。花粉症のとても辛い時期で鼻水・鼻づまり・目のかゆみ等色々症状が出てきます。そんな3月30日にさくらまつりが開催されます。外部での販売となります。これから販売会議・全体会に参加する仲間を決めていきたいと思っています。販売する物品は授産製品・飲料類・わたあめを予定しています。花粉症に負けずたくさんの商品を販売しましょう。そして給料・ボーナスをたくさんもらいましょう!

<広報だいち> 広報委員会（職員） 面来・安藤・岡部・小原・高篠  
（仲間） 田村・神永・土屋莉恵・関口・近野・戸谷